

雑草化する帰化植物(II)

— 離 弁 花 ・ 合 弁 花 —

全国農村教育協会 広田 伸七・村尾 宵二・天野斗史子・尼川 大録

帰化植物が広がっていく速度が急速に短縮されてきた。植物は自身ではあまり遠くまでは移動できない。種子に冠毛を持ち風で飛散するものや、水の流れによって移動するものなどでもせいぜい数 km までである。しかし、この移動に人が手を貸せば別である。目覚しい発達をとげた交通手段が、植物の広まりに手を貸しているのである。自動車や航空機の車輪や機体に種子が付着して運ばれたり、人の衣服や靴底に種

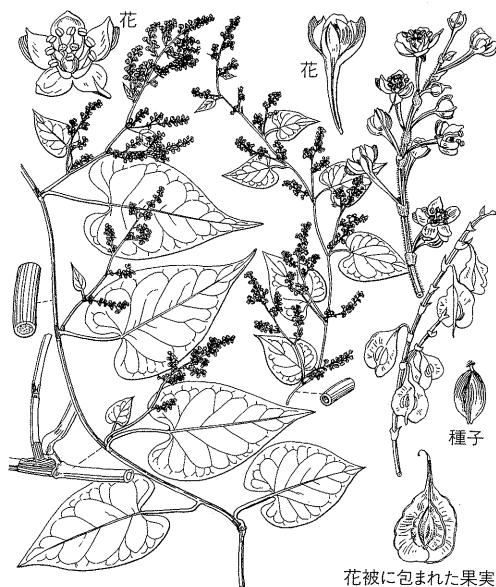
がついて運ばれる。その証拠として高速道路沿いのグリーンベルトや道路脇、空港周辺に帰化植物を多く見かけ、また、都会地のあき地や住宅地にまず新しい帰化植物が見られる。帰化植物は人の移動によって広まっていくのである。

なお、本稿は「日本山野草・樹木生態図鑑」(全国農村教育協会発行)より転載したもので、図鑑にはカラー写真と図を併用して掲載しているので、詳しくは上記の図鑑を参照されたい。

ツルドクダミ〔タデ科〕*Pleuropterus multiflorus* Turcz.

夏緑性多年草。成長期間4～11月。

中国原産、江戸時代に薬用植物として入ってきたもので、渡来は新しくないが、野生化して、最近では各地で見られるようになってきた。根茎は地中を伸びてその先が塊根となる。茎は円柱状で堅く、平滑、無毛。つるになって伸び、他物におおいかぶさったり、電柱などにからみついたして、長さ1～3 m。葉は互生し、長さ3～6 cmの葉柄があり、葉の基部近くに関節があってここから脱落しやすい。葉身は卵状心臟形または心臟形。鋭尖頭で両面ほぼ無毛。9～10月に葉腋や枝先に円錐花序をつくり、小さな白い花を多数つける。果実には3片の翼がある。
〔生活型〕 H R₄ D₄ b-1



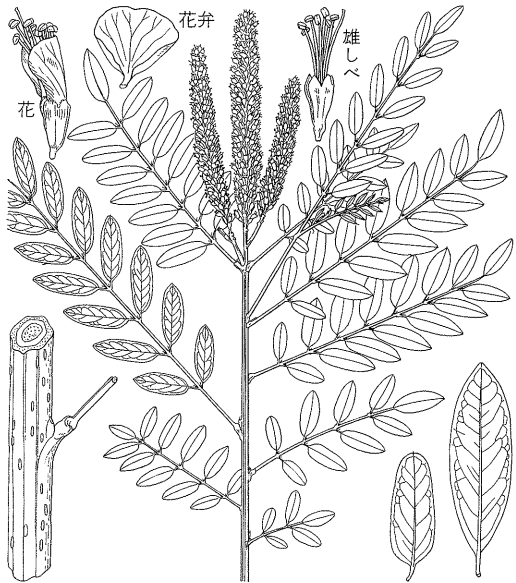
花被に包まれた果実

イタチハギ (クロバナエンジュ) [マメ科] *Amorpha fruticosa* L.

落葉小低木。成長期間4～11月。

北アメリカ、メキシコ原産で、山地の砂防用や護岸用の樹種として、大正時代に入れられて各地に植えられたが、それが広がって、道路沿いや、海岸林などでしばしば群生し、雑木化している。茎はよく分枝して株になり、高さ2 m以上に達する。樹皮は灰褐色。葉は奇数羽状複葉で長さ10～30 cm、小葉は9～21個で楕円形、長さ2～3 cm。裏面にまばらに毛があり、香気がある。花期は6～7月。枝先に長さ6～20 cmの総状花序を出し、小さな花を密集してつける。花は黒紫色だが、雄しべが花冠より長く、葯が黄色なので花期にはよく目立つ。

〔生活型〕 N R₅ D₄ e

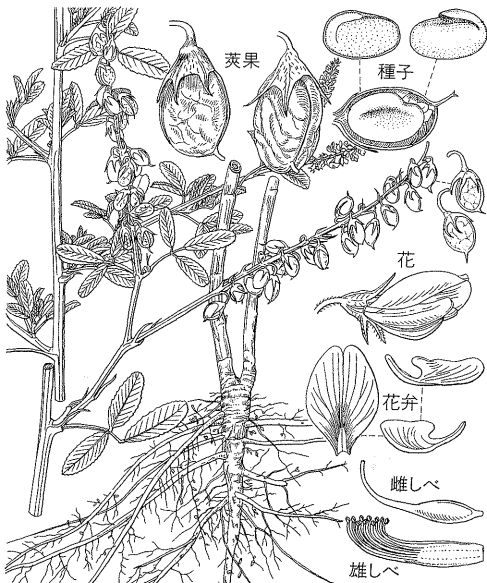
シナガワハギ (エビハラハギ) [マメ科] *Melilotus officinalis* Pallas

forma *Suaveolens* Ledeb.

越年草。生育期間10～9月。

東南アジア原産の帰化植物で、路傍や荒地、海岸や川岸などに生育し、しばしば群生している。茎は多数に分枝して直立または斜上して高さ30～100 cm。若いときには毛があるが後にはほとんど無毛となる。葉は葉柄があり、3小葉からなる3出複葉、小葉は卵状楕円形～狭楕円形、長さ1.5～3 cm、幅5～10 mm、縁には細かい鋸歯があり、表面は無毛で裏面にまばらに毛がある。花期は5～9月。茎の先や葉腋から長さ3～9 cmの総状花序を出し、蝶形花をやや密につける。花は黄色で長さ3～5 mm。花が多数咲くので花期にはよく目立つ。

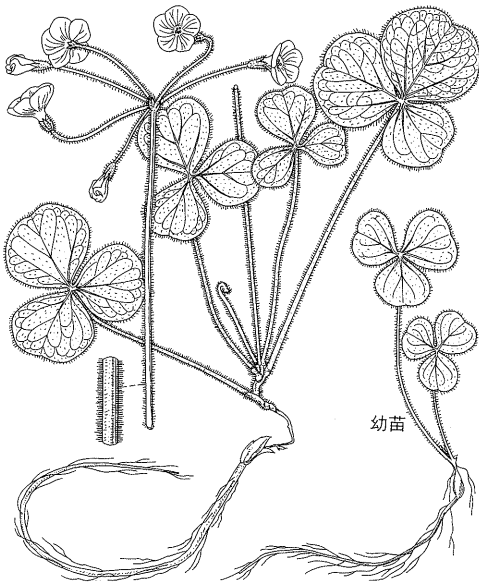
〔生活型〕 Th(w) R₅ D₄ e



ハナカタバミ〔カタバミ科〕*Oxalis bowieana* Lodd.

常緑性多年草。成長期間はほぼ通年。

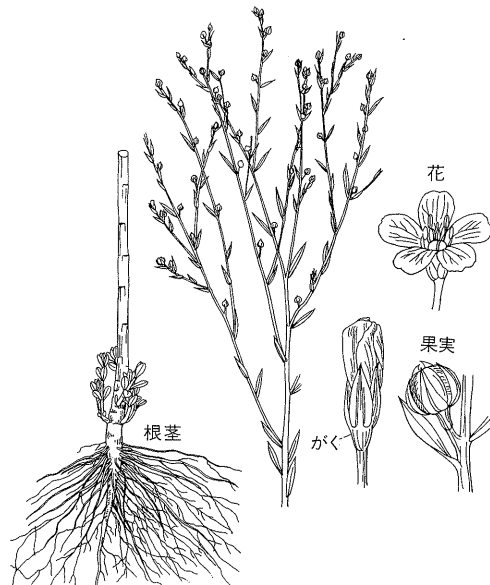
南アメリカ原産で、江戸時代末期に渡来し、観賞用に庭や庭園などに植えられていたが、逸出し、現在では四国や九州、房総南部などの暖地で野生化している。塊茎で繁殖する。地下に紡錘形の塊茎と太い根茎がある。葉は総て根生し、8～25 cmの長い葉柄の先に3小葉をつける。葉柄には白色の細い毛がやや密にある。小葉は倒心形で、長さ、幅ともに2～6 cm、先端は凹み、両面に細毛があって、葉脈は裏面に隆起する。花期は7～10月。花茎は長さ20～50 cm。花茎の先に散形花序をつくり10個内外の花をつける。花は径約3 cm、紅紫色で美しい。
〔生活型〕 G R₅(b) D₅ r



キバナノマツバニンジン〔アマ科〕*Linum Virginianum* L.

1年草。生育期間5～10月。

北アメリカ原産の帰化植物。日当たりのよいやや湿った草地や原野、路傍などに生育する。茎は細く、直立し、上部で分枝して高さ20～50 cm。葉は互生するが下部では対生する。葉身は楕円状皮針形で長さ1～2 cm、幅約3 mmと細く、やや厚味があり、粉白色で茎に上向きにはりつくような感じでつく。花期は6～8月。花は昼過ぎから開花して数時間で散る。茎先に花茎を数本出して、ごく短い花柄の先に径8 mm内外の淡黄色の花を数個咲かせる。茎や葉が細く繊細な感じに対して花がやや大きいので開花期には花が目立つ。果実はやや平たい球形。
〔生活型〕 Th R₅ D₄ e



シマニシキソウ〔トウダイグサ科〕 *Euphorbia pirulifera* L.

1年草。生育期間ほぼ通年。花期もほぼ通年。

熱帯アメリカ原産といわれるが、アジア熱帯地域に広く分布する帰化植物。沖縄、九州、四国、近畿南部など暖地に帰化している。路傍、畑地、芝生、あき地などで見られる。茎は下部で分枝し、斜上して、高さ20～60 cm。白色の短い毛と黄褐色のやや長い毛が密生する。葉は対生し、ごく短い柄があるかまたはほとんどない。葉身は卵状楕円形～長楕円状卵形、長さ2.5～4 cm、幅8～15 mm、やや鋭頭で縁には細かい鋸歯がある。表面は青緑色かやや帯赤色、裏面は帯黄色で両面に軟毛が多い。葉腋に花が集散状に密につき、全体が褐色～緑褐色の球形に見える。

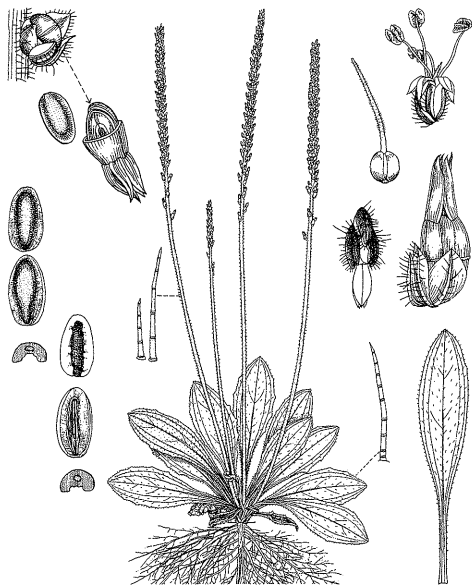
〔生活型〕 Th R₅ D_{3,4} e, b

ツボミオオバコ〔オオバコ科〕 *Plantago virginica* L.

1年草または越年草。生育期間4～11月。

北アメリカ原産の帰化植物。最近では荒地やあき地、庭、路傍などにかなり生育している。葉は総て根生し、卵状楕円形～倒皮針形で、先は尖り、基部は次第に狭くなって葉柄に流れる。縁には低い波状の歯がある。両面に毛が密生する。花期は5～8月。根もとから数本の花茎が伸び、高さ10～30 cmになり、先に円柱状の穂状花序をつけ、黄白色の小さな花を多数咲かせる。花茎は淡黄褐色で毛が密生し、花にも毛がある。全体はオオバコに似るが、全草に毛が密生している点で区別がつく。

〔生活型〕 Th, Th(w) R₅ D_{7,4} r



コバナヒメハギ (カスミヒメハギ) [ヒメハギ科] *Polygala paniculata* L.



1年草または越年草。生育期間、多くは2～9月だが、ほぼ通年生育する。

南アメリカ原産の帰化植物で、戦後沖縄に入り、沖縄の荒地や草地、路傍などに生育している。茎は多数に分枝して株になり、高さ20～40 cm、全体に芳香がある。葉は互生し、線状長楕円形～線状皮針形で長さ1～1.5 cm、幅1～2 mm、先は鋭く尖り、基部は鋭形となって茎につき、葉柄はない。全縁で質は薄い紙質、表面は緑色で裏面は粉白色を帯びる。花期は最盛期が3～5月だが12月頃でも花が見られる。茎先に長さ4 cm内外の総状花序を出し、白色で小さな花を多数つける。

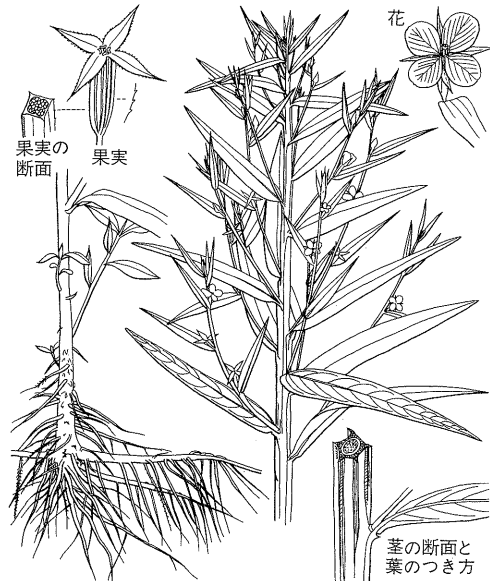
〔生活型〕 Th, Th(w) R₅ D₄ b

ヒレタゴボウ (アメリカミズキンバイ) [アカバナ科] *Ludwigia decurrens* Walt.

1年草。生育期間5～10月。

熱帯アメリカ原産の帰化植物。池や沼、水路の周辺に生育する。茎は角状で3～5の稜があり、よく分枝して直立し、高さ50～130 cm。葉の基部が稜に沿って流れて著しい翼になる。葉は互生し、ほぼ無柄で線状皮針形～皮針形、長さ10～17 cm、幅2～3.5 cm、先は尖り、全縁で質は柔らかく、主脈は太く裏面に隆起する。茎、葉ともに無毛。花期は8～9月。葉腋に短かい花柄を伸ばし、黄色の花を咲かせる。花は径約1.5 cm、花弁は4個で長さ8～12 mm、花弁に脈が明瞭に見える。果実は4稜があり、長さ約1.5 cm。果実の稜には狭い翼があり微歯がある。

〔生活型〕 Th R₅ D_{1,4} e



マツバゼリ〔セリ科〕 *Apium leptophyllum* F. Muell.

1年草。生育期間4～8月。

熱帯アメリカ原産の帰化植物。海岸に近いあき地や荒地、路傍などに生育する。茎は細く、よく分枝して斜上したり、直立して、高さ20～60 cm。しばしば群生する。葉は糸状で細く、2～4回羽状に分裂し、下部の葉は線状皮針形で幅0.5～1 mm。上部の葉はさらに細く、線形で葉柄も短かく、葉柄の基部は広がって茎を抱く。茎、葉ともに無毛で、セロリーに似た香りがある。花期は5～6月。上部の葉腋に2～3個の散形花序ができ、白色のきわめて小さい花を咲かせるがあまり目立たない。果実は扁平形で縦に5本の隆起がある。

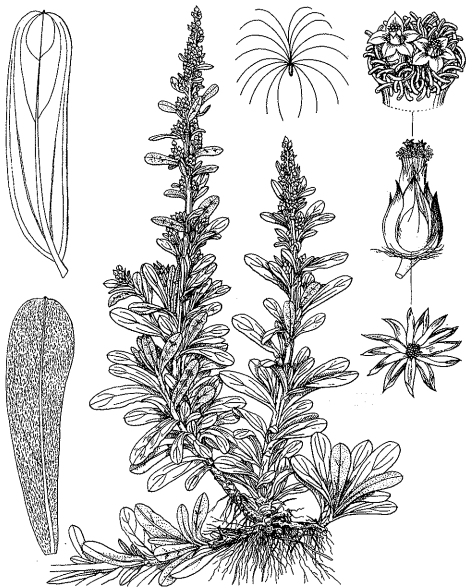
〔生活型〕 Th R₅ D₄ e

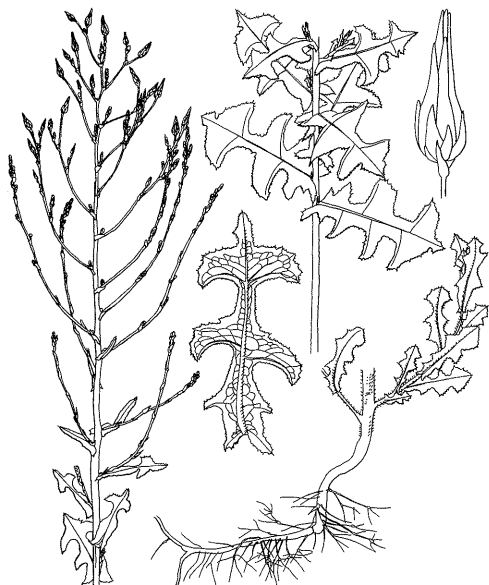
ウラジオチコグサ〔キク科〕 *Gnaphalium Spicatum* Lam.

越年草または1年草。生育期間ほぼ通年。

1970年代に帰化したとみなされているが、最近かなり目立つようになった雑草である。特に都会地周辺では庭、あき地、荒地、芝生、住宅地の駐車場、土手などに群生しているのを見かけるようになった。茎は1～数本立ち、高さ10～30 cm。円柱状で白い毛が密生する。地面に張りつくようにしてロゼットをつくるが、ロゼットは踏みつけにも強い。根出葉はへら状楕円形で、先は丸く、表面は濃緑色で裏面は綿毛が密生して純白色に見える。茎の葉は幅が狭くなり縁が波うつことがある。花期は6～8月。茎上部の葉腋に紫褐色の花を密につける。果実には冠毛があり、風で飛散する。

〔生活型〕 Th(w) Th R₅ D₁ b-ps



トゲチシャ〔キク科〕 *Lactuca Scariola* L.

1 年草または越年草。生育期間 4～11 月。

ヨーロッパ原産の帰化植物。和名のとおり、全体に刺がある。茎は分枝せずに直立し、高さ 1～2 m の大型雑草で、普通茎に 1 列の刺がある。葉は柄がなく、長楕円形で、羽状に深く分裂する型と分裂しない型とがある。葉身はやや光沢があり、葉裏の主脈上に刺があり、縁の鋸歯も刺状でさわると痛い。基部は耳形となって少し茎を抱く感じ。花期は 7～8 月。茎上部の葉腋から多数の花枝が出て、筈状に広がり黄白色の花を多数咲かせる。果実には冠毛がある。最近では各地に広がり、福島、長野、山梨、中国地方、九州などで見られしばしば群生している。

〔生活型〕 Th, Th(w) R₅ D₁ e

ハゴロモモ (フサジュンサイ)〔スイレン科〕 *Cabomba caroliniana* A. Gray

夏緑沈水性多年草。成長期間 4～11 月。

北アメリカ原産で、観賞魚の水槽の中に入れる藻として栽植販売されているが、最近では野生化して、各地の池や沼に群生している。種子と寒地では殖芽によって繁殖する。茎は細く、水中を長く伸びてよく分枝し、長さ 1 m 以上になり、下部の節から根を出して下垂する。水中葉は対生し、長さ 1～1.5 cm の葉柄がある。葉身部は扇形で径約 5 cm。3～4 回細裂して裂片は糸状。花期は 7～10 月。茎の先が長く伸び浮水葉（浮水葉は開花時のみつく）ができて、その葉腋から 3～5 cm の花柄が伸びて先に数個の花がつく。花は白色で花被片 6 個（がく片 3 個，花弁 3 個）。

〔生活型〕 HH R₅ D₁ b

